

海と緑 自然と調和したまちづくり

## 対話から始めよう ケアを大切にする やさしい横須賀へ

いま、物価高騰により市民生活が大変です。私は、市民の暮らしを支え、ケアを大切にする市政をすすめます。

海と緑、自然をいかした横須賀のまちづくり、基地強化を許さず「核兵器廃絶・平和都市宣言」にふさわしい、新しい市政にチェンジします。



プロフィール●1953年広島県生まれ。東洋大学経済学部卒。東京保健生活協同組合・氷川下セツルメント病院入職後、都内の関連病院・診療所に勤務。現在、神奈川県みなみ医療生協で監事。

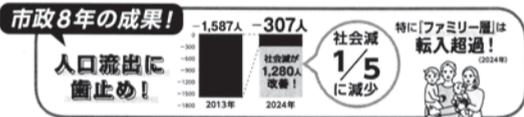
### 市民の願いを活かす 市政へチェンジ

- 小・中学校の給食費無償化
- 小学校、保育園の統廃合計画の見直し
- ケアで働く人々の待遇改善
- 1万円で購入できる「はつらつシニアパス」
- 再エネ・省エネを促進し、石炭火力発電をゼロに
- 市民参加による「気候市民会議」の設立
- 食とエネルギーの自給率向上
- がけ崩れ、急傾斜地対策の促進
- PFAS（有機フッ素化合物）などの公害から市民を守る
- 原子力空母の母港継続に反対
- 米軍人による事件・事故をなくすための対策の強化



無所属  
ためそう稔  
為壮みゆる

## さあ動きはじめた！ヨコスカ復活！！



これから **実現** させます！

#### 子育て・福祉

出産子育て応援祝い金10万円を創設

★ひと  
こども園をリニューアルし待機児童ゼロを達成

#### 地域づくり・防災

行政センターの機能強化や町内会・自治会の負担軽減

★まち  
4市1町の防災連携強化

#### 地域経済と雇用

横須賀中央、追浜、久里浜の再開発

★ごんご  
物流機能を強化し関連企業誘致

#### 自然環境

「海」や「みどり」を守り、4市1町の連携で脱炭素を実現

★環境

拝啓 横須賀市民の皆さまへ  
8年前に市長に就任してから、全力で「ヨコスカ復活」に向けて邁進してきました。まちを覆う閉塞感や諦めにも似た気持ちを一扫したい。そして再び活気と輝きを取り戻したい、との一心でした。  
市立中学校の完全給食の実施や、18歳までの医療費の無償化などに加え、文化・スポーツ・エンターテインメントを活用したソフトなまちづくりも進めてきました。  
その結果、ようやく人口流出に歯止めがかかり始めました。特に昨年のファミリー層は、転入者の方が上回っています。横須賀に暮らす皆さまがまちのために仕事をし、さらに横須賀を好きになる、という経済の好循環も実現してきました。  
この流れを止めることなく、これまで種をまいて芽吹きはじめた施策の数々を、大きく花として咲かせたい。すべての市民が安心して暮らせるまちづくりを進め、「誰も一人にさせないまち」を実現します。

上地 克明

- ◆1954年1月 横須賀市吉倉町出身
- ◆逸見小、桜台中、県立横須賀高校、早稲田大学商学部卒業
- ◆衆議院議員田川誠一秘書などを経て、2003年横須賀市議会議員に初当選（4期）
- ◆市議として「横須賀市中小企業振興基本条例」「横須賀市地域を支える条例」を提案
- ◆2017年横須賀市市長選挙で初当選
- ◆2021年横須賀市市長選挙で2期目再選



かみじ かつあき  
上地 克明

### ◎お知らせ

- 投票の際には、ご自身の氏名が記載されている「投票案内」をお持ちください。
- 投票案内が無くても、選挙人名簿に登録があれば投票することができますので、投票所の係員にお申し出ください。
- 投票・開票の速報は本市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/shisei/senkyo/index.html>

ホームページ  
二次元コード



令和7年6月22日  
執行  
**横須賀市長選挙**  
選挙公報

横須賀市選挙管理委員会

# 変えるなら、今しかない!

3つの約束+5つの政策+財源確保作戦で、「暮らし」のための横須賀へ



完全無所属  
**おばたさおり**  
39歳

3つの約束	約束①	約束②	約束③
	<b>20年先まで伴走します</b> 次世代のために、継続的なまちづくりが求められる横須賀。長期単位のビジョンで、まちづくりを実践していきます。	<b>市長の給与を半額に</b> “暮らし”の向上には大胆な改革が不可欠、「人口減の食い止め実現」まで市長の給与を半額にカットして挑みます。	<b>母として子育てNo.1のまちに</b> 現役子育て世代として、子育てはもちろんすべての世代の福祉の充実に邁進し、「暮らしやすさNo.1」の街を実現します。
5つの政策 + 財源確保作戦	<b>1 子ども・教育</b> ・全小学校区に“安心の居場所”を整備(2028年までに44か所以上) ・インクルーシブ教育推進校を3年で3校整備 ・不登校特例校を市内に1校設置(2028年度開校)	<b>2 若者・雇用</b> ・自分らしく働ける就職・起業支援、フリーランス支援 ・「若者会議」を設置、毎年政策提言を1件以上市長に提出 ・YRPをサイバーセキュリティ人材とグリーン人材の育成拠点へ!	
	<b>3 働く世代・子育て</b> ・保育所・学童クラブの待機児童を2026年度にゼロへ ・1歳までの家庭へ紙おむつの宅配支援(2025年度内に開始) ・ファーマーズマーケット・マルシェ開催支援で年間開催数倍増	<b>4 高齢者・介護</b> ・2028年度までに75歳以上の要支援・要介護認定率を5%改善 ・介護人材1200人不足の2035年に向け、年間150人の確保・定着へ ・市民の20%を認知症サポーターに育成!	
	<b>5 共通・未来への投資</b> ・市役所の女性管理職をまずは30%へ引き上げ、いずれは50%へ ・地域人材の協力を得て、「英語が話せるようになる」まちへ! ・2026年度までにネイチャーポジティブ宣言、気候市民会議の開催	<b>+α 財源確保作戦</b> ・無駄を省く行政改革(事業棚卸し/大型プロジェクト見直し/DX化) ・若者・子育て世代の定住で税収を増やす! ・ふるさと納税の強化/ネーミングライツ導入・施設の収益化	
	<b>経歴</b> 小幡 沙央里 (完全無所属・39歳) 横須賀市立平作小・池上中・横浜市立金沢高校 卒業 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 政治学部 卒業	学習塾・不登校・ひきこもり支援 NPO で活動 2015年:横須賀市議会議員 初当選 2018年:出産・子育てと議員生活を両立 2023年:市議会議員 3期目当選 (トップ当選)	第98代 横須賀市議会副議長 (女性歴代最年少) 2025年2月:次の挑戦のため、市議を辞職

「あなたとともに、未来をつくる市長へ。」  
暮らしの苦しさは、政治は本気で向き合っているのでしょうか。  
私は、母として、市議として、現場の声を傾け、動いてきました。  
子どもや若者が地元を離れ、高齢者が孤立していきまじくはなく、  
「ここで生きていきたい」と思える横須賀に変えたい。  
暮らしを変える一票を、あなたの手で。

小幡 沙央里

投票日

# 6月22日(日)

投票時間

# 午前7時から午後8時まで

## ◎期日前投票について

### ●期日前投票ができる場所、期間

場所	期間
ヴェルクよこすか2階	6/16(月)～6/21(土)
市内各行政センター	
横須賀モアーズシティ8階	
	8:30～20:00
	10:00～19:30

※最終日付近は混雑する傾向にありますので、分散投票にご協力をお願いします。